



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 南海化学株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4040 URL <https://www.nankai-chem.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 菅野 秀夫  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員業務本部長 (氏名) 室井 真澄 (TEL) 06-6532-5590  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,142	—	891	—	890	—	642	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 687百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	327.02	324.01
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2023年3月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の数値及び2024年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2023年4月20日に東京証券取引所スタンダード市場へ上場したため、新規上場日から2024年3月期第2四半期連結会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,616	6,941	36.9
2023年3月期	18,346	5,191	28.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,877百万円 2023年3月期 5,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2023年11月14日)公表の「2024年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	3.6	1,300	63.2	1,600	80.6	1,000	98.4	488.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年11月14日)公表の「2024年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	2,330,330株	2023年3月期	2,330,330株
2024年3月期2Q	350,581株	2023年3月期	1,044,283株
2024年3月期2Q	1,964,209株	2023年3月期2Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2023年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2023年度第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫等による原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、世界的な金融引き締め政策による景気下振れ懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、円安を背景とした原材料・エネルギー価格の高止まりを受けた商品の値上げ等が国内経済に及ぼす影響が懸念され、先行きは楽観できない状況となっております。

このような経済情勢のもと、当社グループは中期経営計画「Fly Higher Nankai」の最終年度として、引き続き経営指針である、「想定力の向上で守りの成長と攻めの成長を実現する」の達成に向け、既存コア事業の基盤強化、価格是正、販売数量確保、効率経営による生産性向上、成長分野への経営資源（ヒト・モノ・カネ）の重点配分の諸施策を適切に実施いたしました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,142百万円となり、損益面につきましては、営業利益は891百万円、経常利益は890百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は642百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### <化学品事業>

基礎化学品につきましては、製品価格の是正を行うとともに、販売数量確保と原価抑制に努めました。

機能化学品につきましては、連結子会社である富士アミドケミカル㈱操業停止の影響を受け、売上は減少しました。

アグリにつきましては、安定供給体制の構築に向けて、サプライチェーンの整備の継続に努めました。

環境リサイクルにつきましては、半導体市況の悪化影響はあったものの、廃硫酸リサイクルの新規顧客獲得推進等を積極的に行いました。

上記の結果、売上高は8,273百万円、セグメント利益は1,315百万円となりました。

#### <各種塩事業>

各種塩事業には、塩の製造や加工、販売が含まれております。梅の豊作による梅用塩の受注量が増加したことに加え、製品価格の是正等により、売上高は868百万円、セグメント利益は67百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産につきましては、主に現金及び預金が212百万円、商品及び製品が227百万円、それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が604百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ290百万円減少し、8,559百万円となりました。

固定資産につきましては、主に有形固定資産が523百万円、無形固定資産が37百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ562百万円増加し、10,038百万円となりました。

##### (負債)

流動負債につきましては、主に短期借入金が1,058百万円、賞与引当金が73百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1,374百万円減少し、6,575百万円となりました。

固定負債につきましては、主にその他に含まれるリース債務が345百万円増加しましたが、長期借入金375百万円、社債が50百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ105百万円減少し、5,099百万円となりました。

##### (純資産)

純資産につきましては、株式上場による自己株式の処分1,608百万円の増加などがあり、前連結会計年度末に比べ1,750百万円増加し、6,941百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は1,514百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は1,688百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益902百万円、減価償却費488百万円、売上債権の減少額532百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は1,059百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,165百万円、投資有価証券の売却による収入102百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は445百万円となりました。これは主に短期借入金の純増減額の減少1,058百万円、長期借入金の返済による支出385百万円、自己株式の処分による収入1,110百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績及び足元の状況を鑑み、2023年5月15日に公表いたしました通期連結業績予想を修正し、売上高20,300百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,000百万円と予想しております。詳細につきましては、本日（2023年11月14日）公表いたしました「2024年3月期通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績につきましては、様々な要因によって異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,301	1,514
受取手形及び売掛金	4,281	3,676
商品及び製品	1,083	1,310
仕掛品	142	93
原材料及び貯蔵品	1,333	1,341
その他	716	628
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	8,850	8,559
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,207	3,044
機械装置及び運搬具（純額）	2,273	2,232
工具、器具及び備品（純額）	214	206
土地	1,129	1,131
リース資産（純額）	9	7
建設仮勘定	502	1,237
有形固定資産合計	7,337	7,861
無形固定資産	582	619
投資その他の資産	1,555	1,557
固定資産合計	9,476	10,038
繰延資産	18	17
資産合計	18,346	18,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,050	2,260
短期借入金	1,738	680
1年内償還予定の社債	100	100
1年内返済予定の長期借入金	851	841
未払法人税等	72	280
賞与引当金	252	178
環境対策引当金	71	69
関係会社整理損失引当金	37	-
その他	2,776	2,165
流動負債合計	7,949	6,575
固定負債		
社債	900	850
長期借入金	2,473	2,097
退職給付に係る負債	290	264
資産除去債務	102	103
環境対策引当金	79	79
その他	1,359	1,704
固定負債合計	5,205	5,099
負債合計	13,155	11,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	454	454
資本剰余金	225	178
利益剰余金	6,658	6,802
自己株式	△2,420	△812
株主資本合計	4,916	6,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	122	127
為替換算調整勘定	93	127
その他の包括利益累計額合計	215	254
非支配株主持分	58	64
純資産合計	5,191	6,941
負債純資産合計	18,346	18,616

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	9,142
売上原価	6,381
売上総利益	2,760
販売費及び一般管理費	1,868
営業利益	891
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	5
賃貸収入	60
為替差益	33
持分法による投資利益	25
その他	9
営業外収益合計	138
営業外費用	
支払利息	21
賃貸収入原価	34
休止固定資産費用	63
その他	19
営業外費用合計	139
経常利益	890
特別利益	
固定資産売却益	0
投資有価証券売却益	76
その他	0
特別利益合計	77
特別損失	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	43
減損損失	5
その他	16
特別損失合計	65
税金等調整前四半期純利益	902
法人税等	253
四半期純利益	648
非支配株主に帰属する四半期純利益	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	642



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日  
至 2023年9月30日)

四半期純利益	648
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	5
為替換算調整勘定	33
その他の包括利益合計	39
四半期包括利益	687
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	681
非支配株主に係る四半期包括利益	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日  
至 2023年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	902
減価償却費	488
減損損失	5
賃貸収入	△60
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△17
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△26
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△73
受取利息及び受取配当金	△10
支払利息	21
持分法による投資損益 (△は益)	△25
固定資産売却損益 (△は益)	0
固定資産除却損	43
投資有価証券売却損益 (△は益)	△76
売上債権の増減額 (△は増加)	532
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△188
仕入債務の増減額 (△は減少)	209
未払消費税等の増減額 (△は減少)	58
その他	△99
小計	1,685
利息及び配当金の受取額	10
利息の支払額	△21
法人税等の支払額	△59
法人税等の還付額	11
賃貸料の受取額	63
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,165
無形固定資産の取得による支出	△14
投資有価証券の売却による収入	102
貸付金の回収による収入	18
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,058
長期借入金の返済による支出	△385
社債の償還による支出	△50
リース債務の返済による支出	△42
自己株式の処分による収入	1,110
配当金の支払額	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445
現金及び現金同等物に係る換算差額	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	212
現金及び現金同等物の期首残高	1,301
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,514

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月20日に東京証券取引所スタンダード市場への上場にあたり、公募による自己株式の処分600,000株、第三者割当による自己株式の処分93,900株を行い、2023年5月23日にすべての払込が完了しております。この結果、資本剰余金が49百万円、利益剰余金が448百万円、自己株式が1,608百万円減少し、主にこれらの影響により、当第2四半期連結累計期間末において資本剰余金が178百万円、利益剰余金が6,802百万円、自己株式が812百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	化学品事業	各種塩事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,273	868	9,142	—	9,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	45	46	△46	—
計	8,273	914	9,188	△46	9,142
セグメント利益	1,315	67	1,383	△491	891

(注) 1. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「化学品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は5百万円であります。